

高齢者見守り隊事業モデルサロンを募集します！

京丹波町社協では、住民主体の福祉活動である「ふれあい・いきいきサロン」活動を「高齢者見守り隊」事業の柱と位置づけ、見守りあい、支えあいのまちづくりを目指しています。

そこで、「高齢者見守り隊事業モデルサロン」となって協力していただけるサロンを募集します。

その地域、サロンに応じてテーマを設定し、さまざまな角度から新たな取組みの可能性を探りながら、その地域ならではの「ふれあい・いきいきサロン」活動をしていただきます。

ともに活動する仲間を増やしたい、活動の幅を広げたいというサロン(活動者)のご応募をお待ちしています。



平成20年度 高齢者見守り隊事業モデル指定ふれあい・いきいきサロン募集要項

1. 募集対象

これからもっと意欲的に活動したいサロンや活動の幅を広げたいサロン、反対に活動に行き詰っている、活動しているが何か物足りなさを感じているサロンなど、活動の充実・発展を図りたいふれあい・いきいきサロン(活動者)

2. 高齢者見守り隊事業モデルサロン募集数

各地区 2サロン程度(丹波地区2、瑞穂地区2、和知地区2)

*応募多数の場合は、審査のうえ決定します。

3. モデル指定期間

平成20年10月～平成22年3月まで

4. 内 容

①モデルサロン実施説明・打合せ会

②研 修

いろいろな地域でのふれあい・いきいきサロンを見聞したり、情報交換をしながら、自らのサロンを振り返り、テーマ設定。

③各サロンに合った実践

自らのサロンの長所を伸ばすことで、地域になくてはならないサロンに…

④その他

話し合いを重ねる中で、また、活動しながら発見した課題の解決や新しいアイデアを取り入れる。

⑤総 括

これまでの振り返り、他のサロンや地域へ伝えよう。

5. 募集期間

平成20年 8月18日 ～ 9月30日

6. お問合せ・応募先

京丹波町社会福祉協議会 各支所まで

(電話) 丹波支所 82-0126・瑞穂支所 86-1440・和知支所 84-1833

高齢者見守り隊情報 No. 1

発行日 平成20年8月 日

社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会
〒622-0311 京丹波町和田中6番地1
電話 0771-86-1440・fax0771-88-0422

京丹波町社会福祉協議会では、平成20年度から「高齢者見守り隊」事業(京都府補助事業)を取り組んでいます。

ふれあい・いきいきサロン活動やくらしの応援ボランティア活動など、これまでの取組みを充実するとともに、地域住民、行政・機関団体等とさらに連携・協力し、誰もが住みなれた地域で、自分らしく安心・安全に暮らせる福祉の地域づくりを目指しています。



～平成20年度「高齢者見守り隊」事業実施要綱より一部抜粋～

(趣旨)

悪質リフォームや孤独死などの社会問題が発生し、地域の隅々まで目が届きにくい状況や地域のつながりの希薄化、社会的孤立・孤独の進行など、高齢者取り巻く課題は深刻化してきています。

そのような中、地域生活において高齢者を孤立させず、さらには自立を促し、高齢者自身が自ら生き生きと暮らすことを支援していくためには、介護保険制度などの福祉施策の充実とともに、ご近所による見守り・声かけ・身近な支えあいなどを通じた小地域でのつながりの再構築や、日常生活における「顔の見える関係」づくりが求められています。

本事業は、地域のボランティアグループや民生児童委員協議会、区・自治会、NPO、地元企業などとともに、地域住民自身が互いに支えあい、高齢者を見守るための新たな仕組みづくりをするために実施するものです。

(事業実施主体)

京都府社会福祉協議会、京都府内市町村社会福祉協議会

これまでの取組みから・・・

「高齢者見守り隊」事業の実施に先駆け、平成19年度末から本年度7月にかけて、地区毎に、「ふれあい・いきいきサロン担い手交流研修会」を開催いたしました。小地域での福祉ボランティア活動の拠点ともいえる「ふれあい・いきいきサロン」を活動者自身が振り返りながら、地域を見直すことで、ふれあい・いきいきサロン活動の意義や必要性の理解を深めていただきました。

「参加者の間では、どのようなことが話題になっているのか」、「どんな人にもっと参加してほしいか」などについて意見交換していただきました。「高齢者を狙った悪質商法の問題」や「世代間で壁を感じる」、「病気をし、その後参加されなくなったが・・・」「介護保険の事業所に対する遠慮があり訪ねて行きにくい」、「訪問を拒む方もいる」など、いろんな課題の発見があったと同時に、サロンの参加者同士はもちろんですが、参加していない高齢者に対しても関心を持ち、サロンの場以外でも声かけ、訪問が続けられています。社協は、サロンが地域の福祉基地となり、地域ぐるみの見守りあい、支えあいのまちづくりを目指して、ふれあい・いきいきサロン活動を応援します。

ふれあい・いきいきサロンの可能性

～社協が描く理想のふれあい・いきいきサロンの展開～

地域の住民が主体となって、気軽に寄り合うことで仲間意識を高めながら、孤立化を防いだり、寝たきりや認知症の予防をしたり、お互いに見守りあい助け合いを進める「ふれあい・いきいきサロン活動」が全国的に展開されています。

地域福祉活動の最も身近な取組みとして期待すべく、理想とするふれあい・いきいきサロン活動を絵にしました。

◆ふれあい・いきいきサロンは「地域だんらんの家」◆

この「家（サロン）」は、地域でみんなが安心して暮らせるために、いつでも誰でもが楽しくおしゃべりしたり、笑ったり、悩みを相談できたり、ゴミだしなどの生活上の困りごとを見つけたり、仲間づくりをするための場所です。

さらには、福祉学習の場として地域の課題を発見し、問題を解決するための情報を発信することや、具体的な活動を起こす地域の「福祉基地」としての役割もイメージしています。

窓から覗いてみると「家（サロン）」の中では、地域に住む様々な人達がつどい、子育て中の若いお母さんが子育ての大先輩からアドバイスを受けてたり、小さい子どもたちに昔の遊びを教えたり、若い人からゴミの分別方法を教わったりしています。

そこに集まる人たちによって、いろいろなたくさんの知恵を出し合い、その人たちが住む地域に合った「家（サロン）」を地域の一人ひとりが何らかの役割を持ち、役立っていると実感しながら「暮らし（運営）」しているのです。

ドアの前には、また新しい「家族（参加者）」がやってきました。この「家（サロン）」はいつでも誰でもが出入り自由な場所です。「家（サロン）」で仲間と話し、笑い、元気になる場所でもあるのです。

より多くの人々が、こうした「家（サロン）」に関心を持ち、理解し、参加することでさらにアイデアも生まれ、子どもから高齢者までが世代を越えて寄り合い、寄り添う場所になっていきます。

◆たくさんの人たちが支える「家（サロン）」◆

サロンという家の家族（参加者）はもちろん、民生児童委員や区、自治会の役員をはじめとする地域住民、介護保険の事業所、消防や警察、社協等の関係機関・団体など多くの人たちが支えて「暮らし（運営）」を守り立てています。

民生児童委員は、住民の困りごとのいちばん身近な相談窓口になる人です。民生児童委員から社協や行政、関係機関につないでいただき、多くの人たちが共に連携して、困りごとなどを解決するための支援をします。

時には、町の保健師に健康体操や保健指導をしてもらったり、消防署、警察署には防災や防犯、交通安全教室などに協力してもらったりすることもあります。

◆ネットワークという「車」でお出かけも必要◆

自分の「家（サロン）」にばかりいると、どうしても情報も不足してしまいます。ネットワークという「車」で、たまにはお隣の「家（サロン）」の様子を見たり聞いたり、社協が開催する「サロン活動者のためのレクリエーション講座」や交流会に参加して、情報交換することも必要です。

「家（サロン）」の「暮らし（運営）」の中や、また地域の中で、気づいたり発見した課題、例えば悪質商法の問題や、子どもや高齢者に対する見守りで発見した課題など、地域住民の

力だけでなく、行政や社協、関係機関・団体などが共に考え、連携や協力をしながら解決を図っていかねばならない課題や問題も多くあります。課題や問題を「家（サロン）」の中に留めておいては解決には結びつきません。

「家（サロン）」の横の「車」で、情報交換の場に出かけ、「暮らし（運営）」の中で発見した課題や問題を関係機関・団体に向けて「ネットワーク」という「車」で情報発信をすることが大切なのです。

◆サロンは地域の大きな家族◆

子どもや高齢者、障がい者が暮らしやすい社会は、私たち誰もが暮らしやすい社会です。地域の中で誰もが安心・安全に暮らしていくためには、そこに住む人たちが団結し主体となって地域を見直し、孤立・孤独にさせない、ならないように、ご近所による見守り・声かけ・身近な支えあいを通じた地域の中のつながりを深めなければなりません。そのためには、区・自治会、行政、社協や関係機関・団体等とともに、見守り支えあうための仕組みづくりが必要となります。

「太陽」は、サロンの場が世代を越えて寄り合え、いつも明るく温かな気持ちで、健やかであるように、やさしい日が射し、やわらかで温かな陽だまりを表現しています。

地域の誰もが、その人らしく、安心・安全に暮らし続けることができるように、社会福祉協議会は「サロンは地域の大きな家族」といえる「ふれあい・いきいきサロン活動」を応援します。

《社協が描く理想のふれあい・いきいきサロンイメージ図》

